

守る会NEWSLETTER

URL:<http://homepage3.nifty.com/save-teiji/>都立定時制高校を守る会・連絡会
連絡会事務局発行

9月19日(水)11時から、 都教委要請行動に参加を

今年の入試結果を受けて、今年度初めての都教委要請行動を行います。内容的には、①八王子の今年状況を受けて、来年度に向けてどのような方策を措置するのか、また、今年入試で行き先がなかった生徒の追跡調査をぜひ、②募集停止校の募集再開など、募集枠の拡大を、③推進計画をどう総括しているのか、を中心に要請したいと思います。

ぜひお集まり下さい。

日時:9月19日(水)11時から。

ただし、集合は10時30分、第二庁舎の一階ロビーにて。

要請場所:(未定~第二庁舎の中の会議室です)

守る会総会開かれる

守る会総会が開かれました。

7月14日、定時制を守る会の総会が行われ、16人が参加しました。

総会では、まず、都高教執行部を代表して斉藤定時制部長が挨拶。「今年の入試状況をふまえ、希望するすべての生徒を受け入れることが出来るよう、来年度に向けて取り組んでいきたい」との決意表明がされました。

定時制の現場、そして中学は今どうなっているのか・・・

その後、現場からの報告ということで、昼夜間定時制（チャレンジ）、夜間定時制、中学からの報告を受けました。

チャレンジ：三部制のチャレンジスクールに勤務しているが、金曜日になると足と顔がむくんでくる。勤務が厳しい。うちは73%の不登校経験者が在学しているとのこと。学校になじめない子も少なくない。トイレや保健室に逃げ込む子も。複数担任制を取っているのも、それはそれでいいと思うが、生徒の抱えている課題はエンドレス。子どもの把握が本当にむずかしい。他部の授業を取っていると空き時間ができることがある。すると保健室にやってくる。私はA勤務なので5時過ぎに帰ろうとするが、そのころ夜間部の生徒が押し寄せてきて、なかなか帰れない実態がある。「特別支援教育」を行っている。カウンセリング委員会などというものもある。しょっちゅう何かがあって、病休の人が出るのではないかと心配になるほど。生徒は他者との関わり方がヘタ。発達障害を持っている可能性のある子もいる。教育の中で、社会性を持たせなくては行けないが、どうすればいいか悩む。加配は基本的にない。また、「発達障害」や「学習障害」について、皆さんが理解しているわけでもない。「特別支援教育」について言うと、対象の生徒を3～4人決めて、年何回かスタッフが来てその生徒と面接をしている。

中学校（中学の先生から聞いた話を、市民団体の人が代わって話しました）：A市では、行



き場のなかった中学生が、去年は33人だったのに、今年は何と65人に増えた。都全体としても350人ぐらい増えたのではないかという推定もある。入試に落ちて行き場のなくなった生徒と話をすると、「勉強をしなかった自分が悪い」と、自己責任論に行き着いてしまう。「全体のシステムが悪いんだよ」と言ってあげるようにしているが・・・今年、

ある進学重点型の都立高校を受けた女子生徒が落ちた。その生徒はオール5で生徒会役員もした生徒。「今度の体験がプラスだったと思える時がきっと来るよ」と励まして

あげたら、「そう言ってくれるのは先生ひとり。他の先生は口々に、生徒会役員もやったのに何で落ちたのか、と言われた。私は入試に有利になるから生徒会役員をしたわけじゃないのに。悲しい」。教師も生徒も素顔を出さなくなっている。そういう中で、学力テストの結果が一人歩きしたら本当に怖い。

夜間定時制：一次入試で満杯になってしまった。ここ数年、二次試験で不合格者を出している。そういう中で今年は生徒の様子が様変わり。今まではそこそこに落ちついていたが、今年は、課題を抱えている生徒が増えている。授業中の立ち歩きや教室への出入りがひんばん。去年使った教材が通用しない。いろいろと事件が起きるし・・・。対応に苦慮している。

生徒に寄り添って

後半は様々に意見を出し合いました。

森代表：八王子の入試や、募集停止校での留年生問題、デリバリー給食など、様々な問題が起こっている。都教委は、今までの計画についてきちんと総括を出すべき。募集停止の学校に関して、進級できない生徒に対する都教委通知はひとつの成果であったと思う。夜間定時制の価値が一層浮き彫りになってきたのではないか。「職員室は居間のようだ」と私の娘が言っていたが、まさにそういうものが求められている。

Aさん：定時制部で、広域通信制の学校、例えばクラーク学園とか八洲（やしま）学園などにどれくらい行っているのか調査できないか。そういう学校の存在が、統廃合の矛盾が大きく噴出ししない原因のひとつになっているのでは？

Bさん：都教委の対応は本当にひどい。どこかに押し込めばいいんでしょ、という感じ。

Cさん：今、子どもが定時制に通っているが、様々な問題があるのを初めて知った。確かに助けがないと難しい面もあり、自分でも過保護ではないかと思うこともあるが、子ども達にももっと自立してほしいと感じるときもある。

Dさん：私は10年以上も前に定時制高校を卒業した。私は定時制に救われた。「定時制なんて要らないんじゃないの」という人もいるから、皆に実態を知らせていくべきだと思う。

森代表：今、不登校の会やNPOなどで活動している。今の子ども達が生活しにくい状況がある。ある学校では、システムが変わり、1年と2・3年が違うカリキュラムになってしまった。学校でばや騒ぎがあったそうで、その結果生徒が退学になったようだが、これでいいのだ



ろうか。定時制に通うだけでも大変なこと。過保護といわれても、子どもに寄り添って行くことが必要と思う。

寺川副代表：子ども達は本当に幸せじゃない。フリーター、貧困・・・そして学齢の時から差別されて・・・なんだこの日本は！都教委も本心で言っているのか、本当は違うのかわからない。

Eさん：教育にマネージメントだって？先生ががんじがらめになっている。先生達を支えていく運動も必要では？

Fさん：教育って何？ともう一度問い返しを。弱者切り捨て反対という原点に立ち返って。

Gさん：先生達も私たちも、視野を広げて発信していくことが大事。無駄なものは切る、という風潮の中、若者が自己責任論に陥っていく。私の子どもは、定時制を卒業できなかったけど、でも励まされて今は仕事に頑張っている。つらい思いをしている子ども達がいる。その子たちを受け入れてくれる夜学の灯があちこちに残って欲しいと思う。

今後の活動の重点は・・・

以上のような話を受け、今後の方針を以下の五点で提起しました。

- (1) 八王子地区の入試問題について引き続き重点課題として取り組んでいく。昨年度の入試に関して、行く先がなくなった生徒の追跡調査なども含め、具体的な資料を求めていく。
- (2) 改革推進計画の検証・検討を都教委に要求していく。その中で、夜間定時制の意義を深め、充実発展をめざしていく。
- (3) 募集停止にともなう教育条件悪化を許さない。（「同居」問題、教職員の加配、デリバリー給食など）
- (4) 新たなネットワークを求めつつ、守る会の活動を一層強化していく。
- (5) 守る会主催の年一回のイベントをさらに発展させる。

最後に、役員を確認。森代表と寺川副代表が留任。山川副代表が降りて、代わりに、元久留米定時制の後藤さんが入りました。山川さんの労を皆さんの拍手でねぎらいました。なお、事務局には、定時制常任委員会から、亀山（工芸定）、加藤（立川定）の両氏が入りました。

今後ともよろしくお願いいたします。

次回拡大幹事会・・・9月8日(土)夕方6時から8時まで

JR 新宿東口から徒歩2分喫茶店西武にて

